

【倉敷市立多津美中学校 グランドデザイン】

保護者・地域

基本的な生活習慣の向上
地域連携の向上
学校と信頼関係の構築
コミュニティスクール

岡山県第2次教育振興基本計画「心豊かにたくましく、『未来を拓く』人材の育成」
倉敷市教育大綱「『From Kurashiki』が誇りとなるひとづくり」
倉敷市「よい子いっぱいのもち倉敷」～信頼と愛情に基づいたあたたかい心を基調として～

教職員

学び続ける教職員
しなやかな組織
共通課題意識
上機嫌は職務

学校教育目標

「一人一人が主体的に正しく判断し、行動できる生徒」

(徳) (知) (体) (夢)

生徒像 ○健康で活気に満ちた生徒 ○心情豊かで、互いに磨きあう生徒 ○礼儀正しく、規律ある生徒

重点的に育成を目指す資質・能力

- ◎ **共生社会の一員**という意識・意欲・態度の育成
- ◎ **基礎基本の徹底**, **コミュニケーション力**の育成
- ◎ **自己肯定感を高め**, **粘り強く努力**できる姿勢の育成

学校経営の基本方針 「『よりよく生きる』魅力ある学校創り」 ○生徒一人一人の資質・能力を高める

○地域・保護者と連携・協働を進め、**信頼される学校**づくり ○教職員が**やりがい**を感じ**組織的に力**を発揮する

第1 何ができるようになるのか (学校教育の基本)	第3 何が身についたのか (学習評価を通じた学習指導の改善)
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢 ・粘り強く問題解決できる ・考えを豊かに伝える(コミュニケーション力向上) ・学びを生活に活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの充実から学びの調整力 ・考えを比べ共感, 違いに気づく力 ・根拠をもって問題解決方法を見出す力 ・自分の考えを修正改善, 再構成する力

第4 子どもの発達をどのように支援するか
<ul style="list-style-type: none"> ・個を大切にした支援と支え合う学級づくり(データに基づいた指導) ・自己肯定感の醸成のためのしくみや場の設定づくり(学級経営, 学校行事など) ・学習の個別最適化, 授業と宿題の連携(個々の丁寧な見取りと支援)

第2 何を学ぶか(教育課程の編成)

- ・年間を見通したカリキュラム作成(常時見直し)
- ・言語能力の育成(授業, 授業外も)
- ・情報活用能力の育成(ICTの日常化)
- ・人権・道徳教育の充実(「よりよく生きる」を深める)

第3 どのように学ぶか(教育課程の実施)

- ・基礎・基本の徹底(ICT活用・宿題(内容・時間))
- ・意見交流の場の設定・課題設定の工夫
- ・課題を**自分ごと**として考え学ぶ授業改善
- ・見通しや**ふりかえり**を意識した学習指導

第5 実施するために何が必要か(指導体制の充実, 家庭や地域との連携・協議)

授業改善・研究推進, 校内研修の充実(OJT), 家庭学習の充実, 多様な交流学習・体験活動
地域・保護者との連携, 外部機関との連携・協力, 地域素材・人材を生かした授業づくり

安心・安全を守る

人権教育・道徳教育の推進(情報モラル), 防災・防犯, 人的・物的環境

開かれた学校づくり

学校だより, HPの情報発信, 地域連携, かすみが丘会

<R4年度 学校の重点取組>

キーワード 「 Chance Challenge Change 」

生徒に チャンスを与え、チャレンジさせる。そして 変わる。

取組①

「**学びの土台**」 聞く姿勢 目で聞く 正対
授業の時の姿勢に気持ちが表れる。

「**生活の土台**」 あいさつと礼、時間を守る。すれ違う人みんなに笑顔であいさつ。笑顔や朗らかさは伝播する。
引き締まった空気をつくる。空気や場の雰囲気づくりで、高め合う集団に。

★ 生徒にも考えさせることが大切(なぜこれが必要なのだろうか)

★ 生徒の活動とのリンクが重要と考える。**自分たちの環境を自分たちで高めることができること**

◎ 分析的な視点から、[I-check]を活用し、状況をみとる(個を理解する)

取組②

「**自己肯定感の醸成**」(ほめて伸ばす, 1 教え 2 育て 3 鍛える)

例) 日々の学級で、「『好ましい姿』を提示, もしくは『なりたい姿』を考えさせることで,

場を与える もしくは 今ある取り組みに価値づけをしてから取り組ませる 高いレベルをめざす 自分も周りも

日々の取組を見直し工夫する。

「**夢を語る児童に**」(キャリアパスポートが有効に活用できるように)

日々の短いスパンの目標設定, 実践, 振り返りを通して, 長期目標につなげる

年度初めに, 前年のキャリアパスの確認と本年度の目標設定を行い自分の将来や夢への意識付け。

取組③

「**共生社会にむけて**」

一人一人の多様な生き方を認め合える、寛容な社会に。心のこもった指導(集団への教育と個への支援の実践)

困った子ではなく, 困っている子なので, 支援が必要。正しい支援のために専門的知見を活用。

取組④

「**基礎・基本の充実**」(基礎充実, モチベーションアップ・意欲付けを重視とする。単元ごとの見取りと支援を)

「**学力・生活力向上**」(全国学力・生活状況調査の中身を確認・意識した指導)(単元テスト・・・繰り返しの重要性認識)

「**個別最適化**」(個に対応した学びの提供, 学習意欲を上げる取組, ICT 活用含む)

「**主体的で対話的な学び**」(授業の在り方の転換, **ファシリテーター**となる。全教科。**対話の方法のスキルアップ**)

「**ICTを文房具に**」(生徒が日常的に使うことが重要)ローマ字入力は、書く速度と同等に。

「**カリキュラムマネジメント**」(総合的な学習と他教科の連動, 行事と教科の連動などの計画)

取組⑤

「**人権教育・道徳教育の推進**」 「**情報モラル教育の推進**」

PBISの考え方を生かした指導, 道徳的価値の理解の深める実践(道徳ノートで深まりを見取ること, アドバイス支援)

取組⑥

「**生徒会・委員会など生徒の活動の充実**」(自ら学校を創る, 行事との連動)活力ある学校づくり
(3年生が活躍できる学校づくり, リーダー意識の醸成、モデルとなる姿を創る)

取組⑦

① 定期的な研究授業 公開授業 ②OJT 研修となる資料を提示しあい学び合う。